

世界が目指す「脱炭素」

岩手の「自然の力」で実現!

太陽光や風力、地熱など自然の力を利用する「再生可能エネルギー」。繰り返し利用が可能で、エネルギーを作る時に、CO₂を排出しない(増やさない)という特徴があります。自然豊かな岩手は、再生可能エネルギー資源の宝庫。岩手の持続可能な未来は「再生可能エネルギー」がキーワードかもしれません。

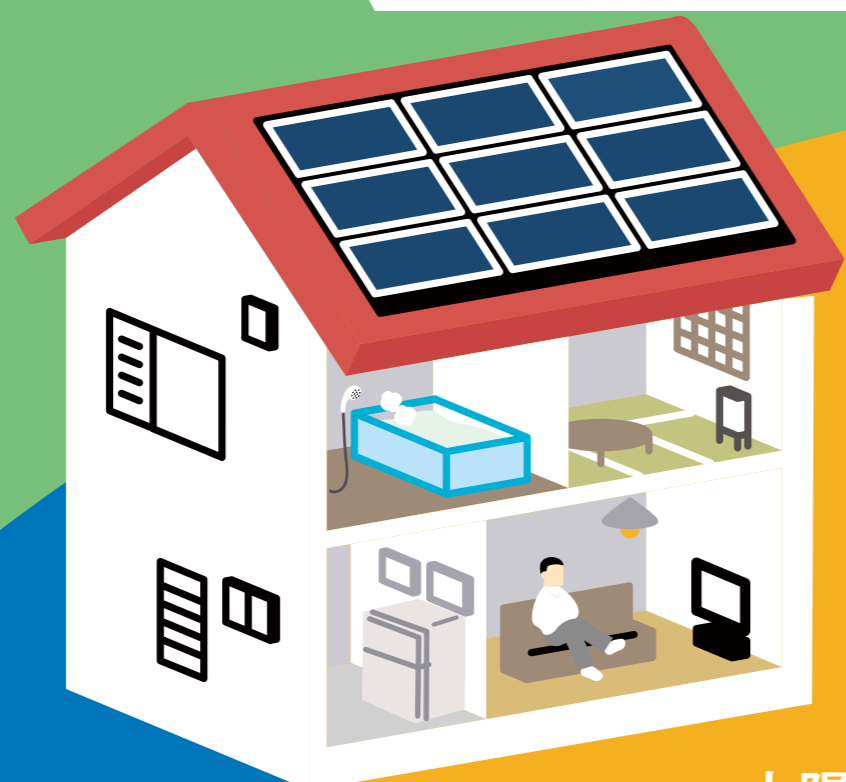
水力

水力発電は、河川の水などを高い所から低い所とところまで導き、流れ落ちる勢いによって水車を回し、電気をつくります。水資源が豊富な岩手県では、40の水力発電所で約12億kwhの電気を供給(令和2年度)。これは、一般家庭約25万世帯における年間電力使用量に相当します。



太陽光

太陽電池を使って、太陽光の持つエネルギーを電気に変える太陽光発電。住宅や施設の屋根などへの設置が広まっており、小型電子機器の携帯用電源、災害時の非常用電源などにも利用されています。岩手県は日照条件が良い場所が多く、太陽光発電に適した地域と言えます。



風力

風の力で風車を回し、その回る力を発電機に伝えて電気に変えるのが、風力発電です。岩手県は、風力発電に適した風が吹く地域が多く、県内各地で大規模な風力発電施設(ウィンドファーム)が建設されています。



岩手 × 再生可能 エネルギー

バイオマス

木材や家畜のふん尿、生ゴミなど、化石燃料以外の動植物によるエネルギーのこと。岩手県は、県土の約8割が森林で、家畜の飼養頭数や生産額も全国トップクラス。バイオマスはいわての強みを生かした再生可能エネルギーであると言えます。



地熱

火山のマグマの熱で温められた熱水・蒸気を地中から取り出し、タービンを回して電気をつくる地熱発電。岩手県は地熱発電のパイオニアで、国内初の地熱発電所である「松川地熱発電所」は、50年以上運転をしています。県内の地熱資源は、全国トップクラスのポテンシャルを有しています。

